

# 英語資格要件の整備のプロセスと実際

～必修科目の単位認定・進級要件としてのTOEFLと  
特別選抜入学者の学力担保～

1. 横浜市立大学の必修科目「Practical English」とTOEFL500
2. 特別選抜における英語資格要件の整備
3. 運用の実際と今後の課題

出光 直樹（横浜市立大学）

<http://www.idemitsu.info>

# 横浜市立大学の必修科目 「Practical English」とTOEFL500

- 2005年の法人化と学部改組
  - 商学部・国際文化学部・理学部を統合し国際総合科学部を設置。
    - 国際教養・経営科学・理学の3つの学系区分で募集し、2年次に7つのコースに進級。
    - 2013年度入学者より、4学系→12コース体制に。
  - 医学部では、既存の医学科に加え、看護短期大学を改組して看護学科を増設。

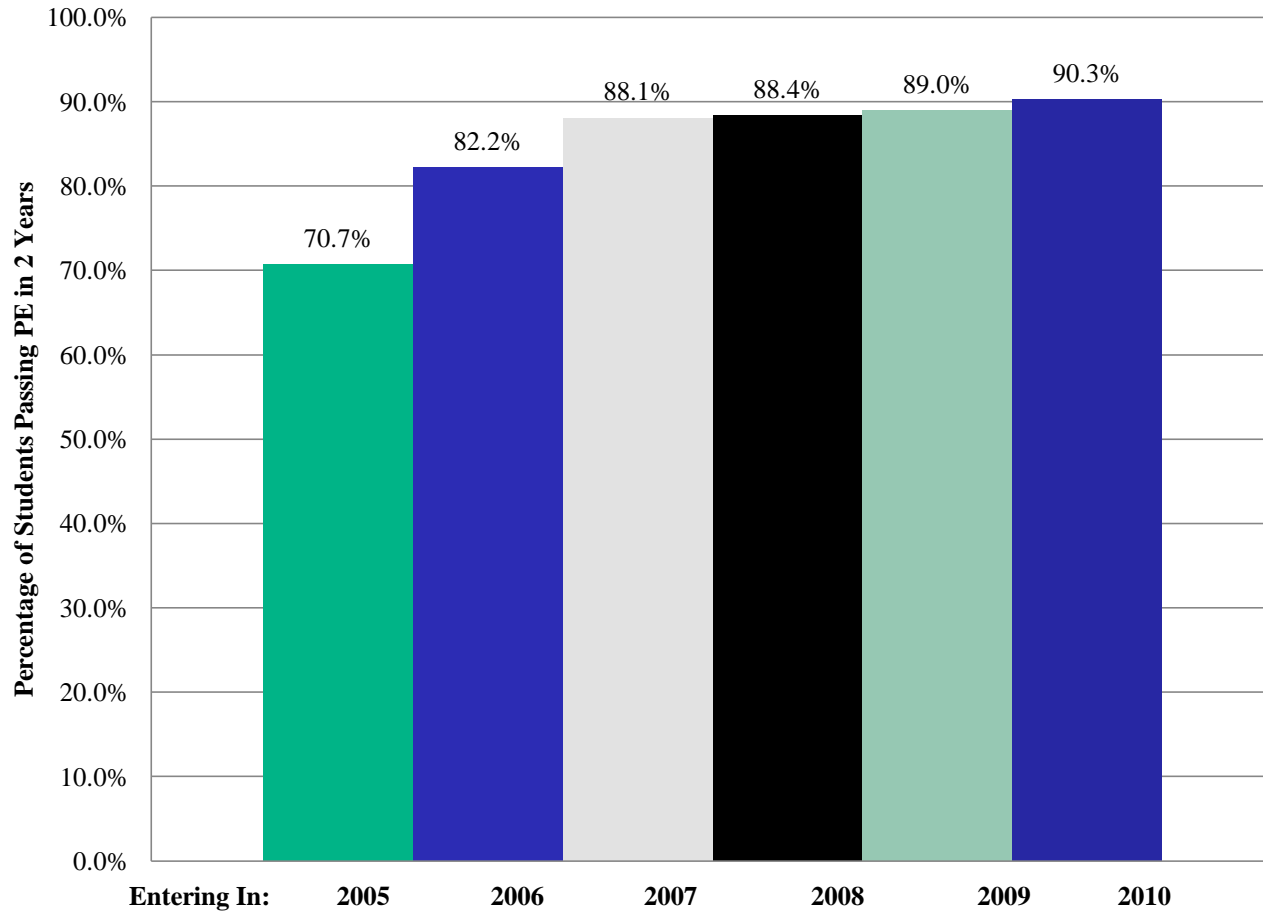
# 横浜市立大学の必修科目 「Practical English」とTOEFL500

## • PEの導入

- 全学必修の「Practical English」(1セメ週3コマ3単位)を設置し、その単位認定要件にTOEFL-ITP500を設定。
- 8割の出席 & 期末試験としてのTOEFL-ITP受験は必須だが、ITP500に満たなくとも、TOEIC600 または英検準1級でも代替可。2013年よりIELTS5.0(各パート4.5以上)も加わる。
- 国際総合科学部では、PE修得が3年次進級要件。医学部では卒業要件に。
  - ただし、看護学科はそれより低い独自基準で運用
- 入学時点でTOEFL-ITP500(ないし相当)の資格を有していれば、履修免除で単位認定も。



# College of International Arts and Sciences



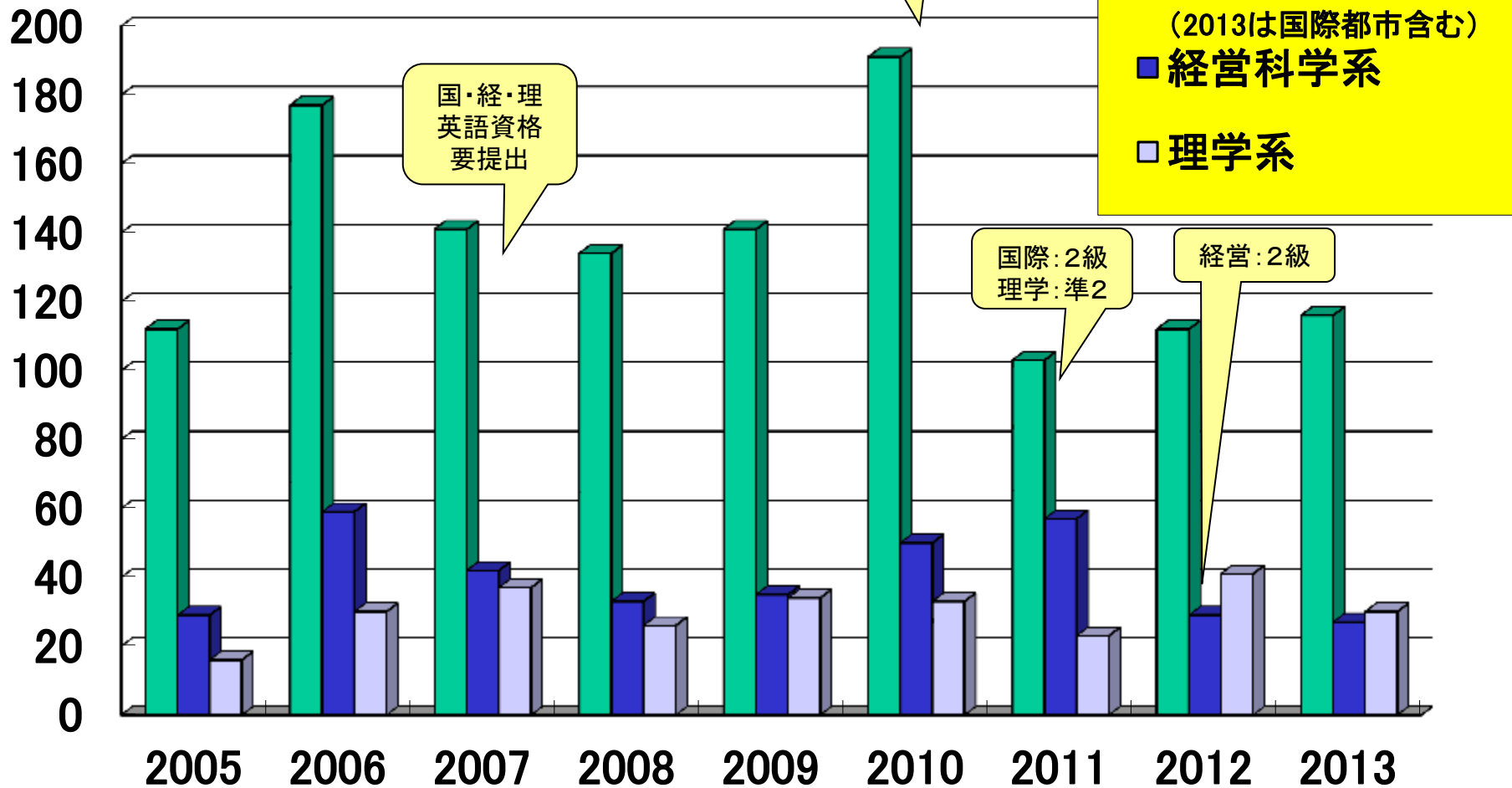
# 特別選抜における英語資格要件の整備

- 学部入試における特別選抜  
(指定校推薦・AO・他)の位置づけ
  - 指定校推薦は国際総合科学部の募集人員の約22%、医学部看護学科では30%を占める。
    - 国際総合科学部の設置前は公募推薦(小論文+面接)として実施していたものを、指定校制(面接のみ)に転換。
    - 従前の公募推薦の入学実績で指定枠を設定した後、以後の新規・追加指定は、一般・AO入試等の入学実績に基づき設定。
    - 医学部看護学科では、2010年度から新規導入。
  - AO入試は国際総合科学部で約7%を募集。
  - 2013年度新設の公募推薦はセンター試験利用であり、一般入試に性格が近いもの。

# 特別選抜における英語資格要件の整備

- 英語資格要件整備のプロセス
  - 学部改組1期生の指定校推薦やAO入学者に、PE不振者が目立つ。
  - AO入試の志願者数の適正化と学力把握。
  - 最初は級・スコアの定め無しで導入し、英語資格と合否の傾向や入学後の成績を見ながら徐々に引き上げ。
  - 当初はTOEFL、TOEIC、英検の3種のみであったが、高校現場の普及に着目して、G-TEC for STUDENTSを追加。
  - 志願者減少の懸念等に対しては、データにより説得。“提出がのぞましい”との妥協案も。
  - 賛否はともかく、PEのカリキュラムポリシーが明確であるため、アドミッションポリシーとしての実質化へ。

# AO入試志願者数



112	177	141	134	141	191	103	112	75+41
29	59	42	33	35	50	57	29	27
16	30	37	26	34	33	23	41	30



# 選抜区分別の提出資格内訳

(2013年度の志願者 資格の複数提出あり)

	志願	TOEFL		TOEIC		英検		GTEC	
指定校	171	1	0.6%	32	18.7%	120	70.2%	46	26.9%
AO入試	173	12	6.9%	69	39.9%	136	78.6%	16	9.2%
帰国生	55	33	60.0%	17	30.9%	5	9.1%		
留学生	19	6	31.6%	13	68.4%				
社会人	3			2	66.7%	1	33.3%		

# 入学後の成績追跡調査

- 学部改組1期生の2005年入学者が3年生になる2008年より、入試区分別の成績追跡調査を本格的に開始。
- PE合格率、成績(100点法のデータ)の平均、単位修得数の平均を集計。
- 選抜区分別の募集人員見直しや、推薦指定校の選定等の基礎データとして利用。

# 入学後の成績追跡調査

- 指定校推薦入学者は、成績、単位数ともに高い傾向。しかし、PE合格率は今ひとつ。
  - 真面目な性格の学生が多く、PE留年しても全体の成績には、あまり影響を受けない。
  - 入学後のTOEFL合格率には、高校間の差がそれなりに出る。
- AO入学者の成績も比較的良い。
- どの区分の入学者においても、出願時に英検2級(相当)以上の資格を有しているかどうかで、入学2年後のPE合格率には差が出る。